

科名 婦人科
 対象疾患名 子宮頸癌
 プロトコール名 キイトルーダ+BEV+TC

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ	↓		
2	点滴注	側管	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	30分かけて	↓		
3	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ デキサート注 ファモチジン 又は	1mg 3.3~19.8mg 20mg	30分かけて	↓		
4	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ デキサート注 ファモチジン	0.75mg 3.3~19.8mg 20mg	30分かけて	↓		
5	点滴注	側管	ネオレスタール注 生理食塩液	10mg 50mL	30分かけて	↓		
6	点滴注	側管	パクリタキセル 生理食塩液	175 or 150 or 135mg/m ² 500mL	必ず3時間かけて	↓		
7	点滴注	側管	カルボプラチン 生理食塩液	AUC5 250mL	1時間以上かけて	↓		
8	点滴注	側管	アバスタチン 生理食塩液	15mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓		

★1クール=21日
 ~MEMO~

6コースまで

催吐レベル3(30%~90%)

day2~4にデキサメタゾン錠を朝,昼食後に4mg/回

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症。

<パクリタキセル>

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要

アレルギー好発時期:初回,2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)

薬剤特徴:1mL=20滴⇒滴下数1.6倍(90滴/分×1h)

<カルボプラチン>

投与量計算:AUC5=5x(Ccr+25)※Ccrは原則Jeliff法

アレルギー好発時期:8回目以降

<アバスタチン>

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可